

# 緑の基本計画

## 第三期行動計画

～平成29年度事業評価のまとめ～



## 目次

施策番号	施策名	担当課	◎	○	△	×	-	平均	総合評価
1-1	自然環境保全地域の指定・拡充	土木課	1	9	2			1.92	○
1-2	樹林地管理ボランティアの人材育成・組織化・活動支援	土木課		6	5	1		1.42	△
2-1	生態系や親水性に配慮した水辺空間の整備	土木課		1	1	10		0.25	×
2-1	生態系や親水性に配慮した水辺空間の整備	区画整理課					12	0.00	-
2-2	既成市街地での適切な公園配置方針の策定	土木課			1	10	1	0.08	×
2-3	借地公園制度の運用検討	土木課		1	10	1		1.00	△
2-4	身近な公園の再整備	土木課	1	10	1			2.00	○
2-5	公共施設の緑化	教育総務課		11	1			1.92	○
2-5	公共施設の緑化	指導課		2	10			1.17	△
2-5	公共施設の緑化	子育て支援課		12				2.00	○
2-5	公共施設の緑化	生涯学習課		10	2			1.83	○
2-5	公共施設の緑化	市民協働課		9	3			1.75	○
2-5	公共施設の緑化	健康課		11	1			1.92	○
2-5	公共施設の緑化	市立病院管理課	6	5	1			2.42	○
2-5	公共施設の緑化	図書館課		10	2			1.83	○
2-6	自然樹形を感じさせる維持管理の検討	土木課		2	10			1.17	△
2-6	自然樹形を感じさせる維持管理の検討	管理課		1	11			1.08	△
3-1	土地区画整理事業による公園・緑地の整備	区画整理課	1	11				2.08	○
3-1	土地区画整理事業による公園・緑地の整備	市街地整備課			10	1	1	0.83	△
3-2	公共施設の緑化	教育総務課		12				2.00	○
3-3	地区計画区域の拡充と緑化率条例の検討	都市計画課		11	1			1.92	○
3-4	四季折々に楽しめる街路樹の整備	区画整理課		11	1			1.92	○
3-4	四季折々に楽しめる街路樹の整備	市街地整備課			11	1		0.92	△
4-1	駅前緑化プロジェクト	区画整理課					12	0.00	-
5-1	市民ボランティアの人材育成・組織化・活動支援	土木課		1	3	8		0.42	×
5-1	市民ボランティアの人材育成・組織化・活動支援	市街地整備課		11	1			1.92	○
5-2	各種普及啓発活動の実施	土木課		2	10			1.17	△
5-2	各種普及啓発活動の実施	管理課			1	9	2	0.08	×
5-2	各種普及啓発活動の実施	指導課		10	1		1	1.75	○
5-3	水と緑の情報収集・提供	土木課			12			1.00	△

## 評価シートの記入について

評価 (◎、○、△、×、-)	<p>5段階で評価してください。</p> <p>◎: 高く評価できる(目標を早期に達成できた、努力しているなど)</p> <p>○: 評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)</p> <p>△: やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)</p> <p>×: 評価できない(まったく進んでいないなど)</p> <p>-: 未評価(当該年度は着手時期ではない)</p>
平成29年度事業報告に対する意見	
<p>上段の評価をした理由を記入してください。</p>	

# 1.「緑の環」の保全活用プロジェクト

## 1-1 自然環境保全地域の指定・拡充

施策の展開方針	「緑の環」を形成している多摩丘陵の斜面緑地は、市内のどこからでも目にすることができるなど、稲城の緑の骨格として緑豊かな稲城のイメージの源泉となっています。 市街地から見える景観的に重要な樹林地や谷戸沿いの樹林地、生物多様性が高い樹林地の保全を図るため、自然環境保全地域の指定・拡充を図り、景観や生物多様性の向上に努めます。
担当課	土木課
対象施設など	良好な民有樹林
10年間の目標	18箇所 16.3haを保全地域に指定・拡充する。
展開手法など	「稲城市における自然環境の保護と緑の回復に関する条例」に基づき、自然環境保全地域を指定します。

### 担当課別行動計画

担当課名	土木課	
平成29年4月現在の状況	14箇所 約9.9ha	
事業目標量	18箇所 16.3haを保全地域に指定・拡充する。	
第三期事業量	平成29年度	薄葉谷戸川東側の斜面緑地
	平成30年度	駒沢学園北側の斜面緑地
	平成31年度	追加指定について検討する。
第四期事業量	追加指定について検討する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	薄葉谷戸川東側の斜面緑地	
事業実績	妙見寺西側緑地(約2.1ha)の指定	
担当課評価	○	
評価理由	事業目標として設定していた土地とは異なるが、その周辺の土地を指定できたため。	
今後の対応	引き続き市内の良好な民有緑地確保のため、新規指定に努める。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境保全地域の指定が出来た。</li> <li>・候補地を開拓しているところを評価する。</li> <li>・薄葉谷戸川東側については、継続的に見送られているが、事情や理由を評価欄に記録しておかないと、次年度以降も同じことを繰り返すことになりかねない。見送り・代替があったことは次年度目標にも注記していく必要があると思われる。</li> <li>・保全地域が着実に増えていることが評価できる。</li> <li>・昨年も言ったが、広く市民に親しまれることが重要と考える。越してきて間もない方が容易にその所在が分かるようであると共に、長く住まわれている方々にも違和感のない表記をお願いしたい。実行している活動がいかに優れていても、その呼称に慎重さが不足すれば、その価値が下がってしまうと捉える。面を点から表現すべきでなく、面からの表現をお願いしたい。</li> <li>・当初の予定とは異なるものの、同程度の緑地が確保できたことは喜ばしい。引き続き能力ご尽力をお願いしたい。</li> <li>・妙見寺周辺は広範囲な貴重な緑地であり、指定目標とは異なっても、事業が前進出来たことは好ましい。</li> <li>・予定とは異なっただと思われるが、緑地の指定はできた。</li> </ul>	

# 1.「緑の環」の保全活用プロジェクト

## 1-2 樹林地管理ボランティアの人材育成・組織化・活動支援

施策の展開方針	市街地から見える景観的に重要な樹林地や谷戸沿いの樹林地、生物多様性が高い樹林地の保全を図るため、指定された自然環境保全地域の樹林地の育成管理を行う、樹林地管理ボランティアの人材育成・組織化・活動支援を行います。
担当課	土木課
対象施設など	穴澤天神社・よみうりランド北側緑地
10年間の目標	2箇所 1団体(第一期段階) 第二期以降に、実施箇所の追加の検討
展開手法など	穴澤天神社・よみうりランド北側緑地に隣接する、川崎市の小沢城址特別緑地保全地区では、既にボランティアによる樹林地管理が行われています。このボランティア団体と連携を図りながら、稲城市側でも樹林地管理ボランティアを組織化していきます。他の樹林地管理についても、その管理ノウハウを広めていきます。

### 担当課別行動計画

担当課名	土木課	
平成29年4月現在の状況	まったく進んでいない。	
事業目標量	2箇所1団体(第一期段階)。第二期以降に実施箇所の追加の検討する。	
第三期事業量	平成29年度	民有樹林地における活動の事例を調査する。
	平成30年度	民有樹林地における活動の事例を調査する。
	平成31年度	5-1で組織化した市民ボランティアを民有地で活動できるよう、検討する。
第四期事業量	5-1で組織化した市民ボランティアが民有地での活動を実施する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	民有樹林地における活動の事例を調査する。	
事業実績	市内及び近隣市の民有樹林地における活動の事例を調査した。	
担当課評価	○	
評価理由	事例の調査を実施したため。	
今後の対応	活動事例の調査を進めながら、活動に向けて検討する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	△
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹林地管理ボランティア分科会がスタートしたことが評価できる。</li> <li>・調査した結果を頂戴したのか記憶にない。会長が決まったことは聞いている。</li> <li>・5-1の事業が動き出したことは評価するとしても、民有地での樹林地ボランティア事業そのものは未だ始まっていない。「人材育成→組織化→活動支援」までを軌道に乗せるとなると道のりは長く、H29年度分を評価しているH30年半ばの時点では、正直焦りを感じている。</li> <li>・樹林地管理ボランティアの取り組み方法が動き出した。</li> <li>・検討段階から調査へと進出したことは評価できるが、最終目標とする市民を巻き込んだ活動は「準備さえておけば一気に実現する」ものとは考えられない。検討と調査など「市内部でできること」の段階に並行して、市民への情報発信など、市民活動への助走は必要と考える。このようなことから、目標自体が甘い認識による低い設定と思わざるを得ない。</li> <li>・樹林地における活動の事例調査を行っているところで、ボランティア活動の人材育成、担い手の組織化、行政の関与度等々のあるべき姿が全く見えてこない。実現に向けての具体的なロードマップの検討が急務と思う。</li> <li>・樹林地管理ボランティアなど、ボランティアを募り活動するのは難しい事なので、どういう方法が良いのか事例の調査をするのは良い。</li> <li>・近隣の活動は把握したと思われるが、具体案の提示はなく、活動できるのか不安を感じる。</li> <li>・川崎市側のボランティア団体が活動継続出来ていることに注目したい。</li> </ul>	

## 2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

### 2-1 生態系や親水性に配慮した水辺空間の整備

施策の展開方針	既成市街地内を流れる大丸用水を活用し、散策路の整備を行い、水と緑の歩行者空間のネットワーク化を進めます。整備を行う際は、身近な親水空間として生態系に配慮した護岸整備などを進めていきます。
担当課	土木課・区画整理課
対象施設など	菅堀・新堀・中野島用水堀
10年間の目標	3,362mの整備
展開手法など	菅堀は、第四次稲城市長期総合計画に基づきながら、生態系や親水性に配慮した親水公園の整備に努めます。 区画整理事業により整備される主要な用水について、生態系や親水性への配慮を事業計画に盛り込み、整備を進めていきます。
備考	土地区画整理事業区域内は区画整理課が担当し、その他は土木課が担当する。

#### 担当課別行動計画

担当課名	土木課	
平成29年4月現在の状況	菅堀150mの調査・基本設計、詳細設計を行った。	
事業目標量	菅堀を整備する。	
第三期事業量	平成29年度	菅堀150mの整備
	平成30年度	菅堀120mの整備
	平成31年度	菅堀150mの整備・事業完了
第四期事業量	-	
平成29年度事業報告		
事業目標	菅堀150mの整備	
事業実績	なし。	
担当課評価	×	
評価理由	契約の不調により、工事ができなかったため。	
今後の対応	平成31年度に平成29年度整備区間の工事を実施する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	×
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第四期中にはすべて完了する認識で大丈夫か？</li> <li>・目標としたことが実施できていないので、評価は低くならざるを得ない。ただし、目標と評価というものを「できませんでした」のひと言で片付けてよいものか。契約不調の原因や事情、それに対する考察が加えられなければ、次年度以降の見通しが立たないのではないか。情報を記録し公開していくことも重要な業務であるとする。</li> <li>・着実に実現に向けて進んでいる。</li> <li>・契約に至らなかった。設計に問題があったのかどうかを確認するべきではないかと思われる。</li> <li>・契約不調はご担当として、じくじたる思いがあられると思う。当然ご配慮とは存じますが、市民の税金によって実施するものですから、安易な妥協はせず、より市民から労いの言葉が出るような設計変更などで計画の進行を期待する。</li> <li>・今後の整備区間の工事の実施を期待している。</li> <li>・自然を守ることと水害を防ぐことが同時にできる様な計画を実施して欲しい。</li> </ul>	

担当課名	区画整理課	
平成29年4月現在の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・榎戸土地区画整理事業：中堀系水路62mの整備完了</li> <li>・矢野口駅周辺土地区画整理事業：田川系45mの整備完了</li> <li>・稲城長沼駅周辺土地区画整理事業：新堀系196mの整備完了</li> <li>・南多摩駅周辺土地区画整理事業：清水川系15mの設計中</li> </ul>	
事業目標量	新堀・中野島用水堀などを整備する。	
第三期事業量	平成29年度	
	平成30年度	・榎戸土地区画整理事業：清水川系(25m)
	平成31年度	
第四期事業量	・榎戸土地区画整理事業：公園通り梨の道線(400m)	
平成29年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	-	
担当課評価	-	
評価理由	-	
今後の対応	-	

評価 (◎、○、△、×、-)	-未評価(当該年度は着手時期ではない)
平成29年度事業報告に対する意見	

## 2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

### 2-2 既成市街地での適切な公園配置方針の策定

施策の展開方針	既成市街地で公園が少ない区域では、身近な緑の拠点づくりとして、適切な公園配置方針の策定を行います。
担当課	土木課
対象施設など	既成市街地
10年間の目標	第二期終了時点(平成28年度末)までに、公園配置方針を策定
展開手法など	公園利用の実態などの不足状況の調査を実施し、まちづくりのあり方に合わせて、市民ニーズを踏まえた公園の配置方針を策定します。

#### 担当課別行動計画

担当課名	土木課	
平成29年4月現在の状況	既成市街地での適切な公園配置方針について検討した。	
事業目標量	第二期終了時点(平成28年度末)までに、公園配置方針を策定する。	
第三期事業量	平成29年度	これまで検討した既成市街地での公園配置方針に加え、生物多様性を考慮した公園・緑地の配置方針について検討する。
	平成30年度	平成29年度に検討した結果を踏まえ、既成市街地での適切な公園配置方針の策定をする。
	平成31年度	
第四期事業量		
平成29年度事業報告		
事業目標	これまで検討した既成市街地での公園配置方針に加え、生物多様性を考慮した公園・緑地の配置方針について検討する。	
事業実績	なし	
担当課評価	×	
評価理由	生物多様性を考慮した公園・緑地の配置方針の検討ができなかった。	
今後の対応	生物多様性を考慮した公園・緑地の配置方針の検討を行い、公園配置方針の策定をする。	

評価 (◎、○、△、×、-)	×
平成29年度事業報告に対する意見	
<p>・既に色々と調査・検討を進めてこられたものと思う。よく理解出来ていなかったら恐縮ですが、生物多様性を考慮した公園や緑地の配置の検討もさることながら、まず、そうしたことに特化した公園や緑地を試行的に造ることはどうであろうか。その上で、配置方針の策定でも良いと思う。城山体験学習館の西側、中央公園の南側、上谷戸親水公園、ふれあいの森を指すのであれば、これらと同等のものを配置することは難しいと感じる。従って、「生物多様性を考慮した公園の配置」については、変更された方が良いのではと思う。</p> <p>・公園配置計画は進んでいる。</p> <p>・昨年も同じ評価をしたように思うが、「できなかった」事情の記録や「どうすべきだったか」の考察を書き残していくことが必要ではないか。目標設定が高すぎるなら、一段低い目標を検討すべきであるし、目標実現へのステップを見直していくことも考えてよい。困難な課題とは思いますが、現場からのフィードバックによる評価と次年度設定には期待する。</p> <p>・市民のニーズを反映した市街地での適切な公園配置方針の策定が目的であり、そこに「生物多様性」がどのように関わるのか理解できない。生物多様性を考慮した公園とはどのようなものか、ご教示いただきたいと思う。</p> <p>・必要な施策なのでしっかりと対応して欲しい。</p> <p>・公園は市民に利用されないと無意味であり、さらに生物多様性を考慮するとなるとさらにハードルが上がることとなると思われ、最善となるよう検討をお願いしたい。</p> <p>・前(H28)年度中に完了する予定の検討の続きがH29年度もできなかったというのは、どういうことなのか？検討ができない、という報告には理由を示していただくことが必要である。</p>	

## 2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

### 2-3 借地公園制度の運用検討

施策の展開方針	新たな公園整備が困難な場合、借地公園制度を活用し、借地による公園整備を行います。
担当課	土木課
対象施設など	一定基準を満たすちびっ子広場など
10年間の目標	4公園(第一期)
展開手法など	一定基準を満たすちびっ子広場などを活用して、借地による公園整備を行います。 既成市街地での適切な公園配置方針を踏まえ検討します。

#### 担当課別行動計画

担当課名	土木課	
平成29年4月現在の状況	下塚戸ちびっ子広場の開園告示。ふれあいちびっ子広場の公有地化。他のちびっ子広場についても借地公園制度の活用を検討を行った。	
事業目標量	4公園(第一期)、第二期以降は地権者の意向などを踏まえながら柔軟に対応していく。	
第三期事業量	平成29年度	下塚戸ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場の公有地化を検討する。
	平成30年度	下塚戸ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場の公有地化を検討する(継続)。
	平成31年度	下塚戸ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場の公有地化を検討する(継続)。
第四期事業量	下塚戸ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場を順次公有地化する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	下塚戸ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場の公有地化を検討する。	
事業実績	緑化推進基金の活用などによる公有地化の検討を行った。	
担当課評価	△	
評価理由	公有地化の検討を行っているが、具体的な方針が示せていないため。	
今後の対応	引き続き公有地化を検討する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	△
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長らく公有地化を模索して来たことと思う。緑化推進基金の活用をご検討は引き続き行って欲しい。相続などで宅地化されることになれば、市民は、「行政は一体何をしているのか。知恵を絞ったのか。」という印象を持つことは必至である。ひいては、根底に、行政に対する非協力的な態度を招きかねない。ことが、相続に因るものである場合は、特に注意が必要と思う。</li> <li>・公園配置計画は進んでいる。</li> <li>・下塚戸ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場について、借地公園制度よりも一歩進んだ公有地化を検討しているということは、評価する。一方、借地による公園制度が進まない理由はどこにあるのか、洗い出してみようか。</li> <li>・前年度に検討して具体的な方針が示せなかった坂浜中央について、対象年度の目標から外れているようだが、これは公有地化不可能という結論に至ったのか？もしそうであるなら、事業目標欄にそれなりの結論を示すべきと考える。継続的に「検討はしたが方針が示せなかった」という実績で、成果を上げられなかった対象ちびっ子広場を目標から外すのであれば、何のための長期計画なのか理解できない。</li> <li>・地権者との折衝等、難しい部分もあろうかと思う。</li> <li>・借地による公園整備は、高齢化に伴い相続の問題が発生するケースもあり、結局、公有地化の検討となるので、借地公園制度の是非についての議論も並行して行うべきではないか。</li> <li>・公園はただ子どもが遊ぶ所ではなく、災害時の避難場所にもなるので整備する必要がある。</li> <li>・なかよしちびっ子広場は町中に有りながら、面積も広く木々に囲まれている為、日中の暑い時でも保護者にとっても、子供達を遊ばせ易い。公有化検討に価すると思う。</li> </ul>	



## 2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

### 2-4 身近な公園の再整備

施策の展開方針	老朽化した身近な公園は、子どもから高齢者までが気持ちよく使い、楽しく魅力ある公園となるよう、整備内容や整備後の維持管理などについて、地域住民との協働による再整備を進めていきます。
担当課	土木課
対象施設など	街区公園など身近な公園
10年間の目標	点検調査結果、市民の声などを踏まえて、必要に応じて再整備
展開手法など	再整備にあたっては、地域住民からなる検討会などとの協働による整備を進めます。 アダプト制度を活用した、地域住民による公園管理も視野に入れた公園の再整備に努めます。 再整備にあたっては、公園施設の点検結果などを踏まえて検討を進めます。

#### 担当課別行動計画

担当課名	土木課	
平成29年4月現在の状況	稲城中央公園・上谷戸親水公園・亀山下公園などの再整備を図っている。	
事業目標量	街区公園など身近な公園を再整備する。	
第三期事業量	平成29年度	地域との連携を図りながら、公園の再整備を図る。
	平成30年度	地域との連携を図りながら、公園の再整備を図る。
	平成31年度	地域との連携を図りながら、公園の再整備を図る。
第四期事業量	地域との連携を図りながら、公園の再整備を図る。	
平成29年度事業報告		
事業目標	地域との連携を図りながら、公園の再整備を図る。	
事業実績	上谷戸親水公園の再整備を上谷戸ホテルのタベ実行委員会とともに検討している。 城山公園へのドッグランの設置について、市民ボランティアと検討している。 多摩梨パークの改修について、アダプト団体とともに検討している。	
担当課評価	○	
評価理由	事業目標のとおり公園の再整備を図っているため。	
今後の対応	地域との連携を継続し、検討を重ね、再整備を実施する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の要望を聞き取るのは有意義。稲城市全体の公園配置計画と齟齬が生じないよう、確認は都度していただきたい。</li> <li>・公園再整備は進んでいる。</li> <li>・「検討する」という目標に対しては「進捗した」という評価にならざるを得ませんが、再整備への道すじは立っているのか。これが担当課評価に表現されていないと、この評価シートの意味もなくなる。事業実績欄には、検討した成果についても触れていただきたい。</li> <li>・公園の再整備が図られていることが評価できる。</li> <li>・ドッグランについては、良くここまで来たものと思う。賛否両論はあると思うが、折角だから検証出来るところまでやられたらと思う。既に検討されたかと思うが、中央公園もさることながら、堅谷戸大橋の下のは検討されたのか。かなりの広さがあり、年に数百万円も維持費が掛かっているが、羊の放牧実験以外にこれといった利用もされていないようだ。</li> <li>・限られた予算の中で、老朽化する公園を整備・維持管理を積極的に行っていることは、高く評価できる。地域との連携を継続しながらの公園の再整備に、引き続きご尽力をお願いする。</li> <li>・公園はただ子どもが遊ぶ所ではなく、災害時の避難場所にもなるので整備する必要がある。</li> <li>・地域団体との折衝の上、再整備に向けた活動が行われている。</li> <li>・稲城中央公園、上谷戸親水公園は、水と緑の稲城市のイメージを象徴としている存在であると思う。地域住民協力を引き出し進めて欲しい。</li> </ul>	

## 2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

### 2-5 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなど)

施策の展開方針	公共施設は、身近に緑を感じられる拠点として、緑豊かなまちづくりの先導的な役割を果たすよう、広がりと厚みを持った緑の創出に努めていきます。
担当課	教育総務課・指導課・子育て支援課・生涯学習課・市民協働課・健康課・市立病院管理課・図書館課
対象施設など	市所管全公共施設
10年間の目標	市立保育園、市立小中学校、文化センター、地域振興プラザ、市立病院、城山体験学習館などで緑化の充実
展開手法など	既存施設では、緑化可能場所を対象に、屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなどの緑化を進め、既に整備済の箇所については維持に努めていきます。

担当課別行動計画

担当課名	教育総務課	
平成29年4月現在の状況	校庭の一部芝生化6校(第六小、向陽台小、長峰小、平尾小、二中、四中)	
事業目標量	一部芝生化した校庭(6校)、屋上緑化(2校)の維持。	
第三期事業量	平成29年度	一部芝生化した校庭の維持(6校) 屋上緑化の維持(2校)
	平成30年度	一部芝生化した校庭の維持(6校) 屋上緑化の維持(2校)
	平成31年度	一部芝生化した校庭の維持(6校) 屋上緑化の維持(2校)
第四期事業量	芝生化した校庭の維持(6校) 屋上緑化の維持(2校) 第四期行動計画策定時に追加を検討	
平成29年度事業報告		
事業目標	一部芝生化した校庭の維持(6校) 屋上緑化の維持(2校)	
事業実績	一部芝生化した校庭の維持、屋上緑化の維持を行った。	
担当課評価	○	
評価理由	一部芝生化した校庭の維持、屋上緑化の維持が出来た。	
今後の対応	引き続き一部芝生化した校庭の維持、屋上緑化の維持を行う。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<p>・屋上緑化の維持であるが、学校で行っているか、ボランティアが行っているか定かでない。また、その活用についても記述がない。ことさらに表記がないところを見ると、通常的に利用をしていないと感じる。緑化の維持は大変なことでしょうから、その活用をご検討願いたい。校庭の緑化は、良好に思われる。</p> <p>・校庭の芝生化。屋上緑化進行中である。</p> <p>・昨年の自己評価欄には、ほぼ同様の目標に対して具体内容が書かれていて好感がもてたが、今回は「出来た」だけの自己評価となっている。昨年に比べて目に見える実績があったなら、そう書いてほしいし、「やったはやったがこういう問題があった」というのであれば、昨年と同じことになる。このシートだけで評価する立場としては、情報不足といわざるを得ない。「どうできたのか」を明示することを条件としたいと考える。</p> <p>・気候変動が続く中、緑化の維持は引き続き重要なテーマであり、今後も継続・維持を期待している。</p> <p>・とても重要な施策だと思う。長く維持できる様々な施策をする必要がある。</p> <p>・二中の一部芝生化は面積も広く維持されてはいるが、維持管理に協力して来た地域のサポートが減って来ており、学校の負担が増えて来ている。その為雑草の混入割合が増し、使用した時の虫さされが指摘されるなどもあり、広さに関して意見も出ていると聞いた。</p> <p>・芝生の維持を行ったとの報告であるが校庭での芝生の管理は難しく、現時点(昨年度)の芝の状態まではわからない。</p>	

担当課名	指導課	
平成29年4月現在の状況	小中学校18校で緑のカーテンを継続している。	
事業目標量	小中学校17校で緑のカーテンを実施する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	小中学校18校で緑のカーテンを継続する。
	平成30年度	小中学校18校で緑のカーテンを継続する。
	平成31年度	小中学校18校で緑のカーテンを継続する。
第四期事業量	小中学校18校で緑のカーテンを継続する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	小中学校18校で緑のカーテンを継続する。	
事業実績	小中学校18校にゴーヤ等の種を配布した。原則的に全校実施としているが、生育状況に差が生じている。(平均的な設置規模は24㎡)	
担当課評価	△	
評価理由	学校によって、生育状況に差が生じているため。	
今後の対応	適宜、学校への啓発を図る。	

評価 (◎、○、△、×、-)	△
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校で緑のカーテンが定着してきている。</li> <li>・学校によって管理状態に差があるのでやむを得ない。</li> <li>・十分な理解を得られていない印象を持つ。</li> <li>・目標として事業の継続実施を挙げ、その通り事業化されているのに、自己評価が△なのはどうか。結果的に生育状況に差があるとしても、事業は実施したのだから「遅れ」にはならないと考える。ただし、「種を配って見たらうまく育たなかった」では、やり放し事業としかいえない。毎年の経験がどう反省され、どう活かされることを目指すのか、それを報告していただきたかった。同じことを昨年の評価でも指摘したが、声が届かなかったようだ。</li> <li>・なぜ、学校毎に生育状況に差が出たのかの検証はされたのか。生育状況の良かった学校の事例をもとに、こうした活動から児童が学ぶことは多いと思われるので推進頂きたいと思う。ゴーヤを食するプログラムを提供するなり、ゴーヤの種を配るより、保育園のように、花や野菜に変更してはと思う。</li> <li>・気候変動が続く中、緑化の維持は引き続き重要なテーマであり、今後も継続・維持を期待している。</li> <li>・とても重要な施策だと思う。長く維持できる様々な施策をする必要がある。</li> <li>・二中では生徒によるピーマン、トマト等野菜の栽培と共に緑のカーテンも作られているが、建物から離れて人目につかない所で残念に感じたが、生徒の手で継続されているのは学校側の働きかけを感じた。</li> <li>・学校によって成長に差があるとの事なので、成長の悪かった学校は、成長の良い学校と何処が違って、何が欠けているのかを学生に検討させて、来年度へ向けた検討を行うべきであろう。</li> </ul>	

担当課名	子育て支援課	
平成29年4月現在の状況	公設公営3保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施を継続	
事業目標量	保育園4園での花壇、緑のカーテン、菜園を実施する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	公設公営3保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)
	平成30年度	公設公営3保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)
	平成31年度	公設公営3保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)
第四期事業量	公設公営3保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)	
平成29年度事業報告		
事業目標	公設公営3保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)	
事業実績	保育園での花壇(12個のプランターで一年を通じて植栽を実施)・緑のカーテン(園庭門付近にフウセンカズラを植える・砂場の上部棚には、キウイフルーツの蔓をはわせる)・菜園(夏野菜・ジャガイモ・サツマイモ・大根)を実施。	
担当課評価	○	
評価理由	トマト、なすなどの野菜が順調に成長し緑のカーテンとなった	
今後の対応	ひまわり、朝顔など、緑のカーテンの充実を図る。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテン進行中である。</li> <li>・維持管理が継続されていることが評価できる。</li> <li>・事業目標に対しては進捗が評価できる。ただし、民営化に移行しつつある保育園行政のなかで、民営化保育園の状況は気になっている。目標を同じくする福祉施設であるのならば、民営保育園にも働きかけるなどの副次的課題も持っていたきたいと期待している。</li> <li>・記述からすると、上手く行ったように思われる。ただ、頂戴した資料からすると、やはりもう少しの感がある。来年度以降の更なる展開を期待する。</li> <li>・是非、今後とも継続をお願いしたい。</li> <li>・とても重要な施策だと思う。長く維持できる様々な施策をする必要がある。</li> <li>・第五保育園では園庭門付近のフェンスに次々と植栽がされており菜園と並んで緑のカーテンも作られている。フェンスは用務員の担当、菜園緑のカーテンは職員が対応しているが負担に感じてはいないと伺った。</li> <li>・トマト、ナスではカーテンとはならないであろうが、充実している印象を受ける。継続していただきたいと思う。</li> </ul>	

担当課名	生涯学習課	
平成29年4月現在の状況	文化センター5館で緑のカーテンを実施。iプラザの屋上緑化を維持。	
事業目標量	文化センター5館で緑のカーテンを実施する。iプラザの屋上緑化を維持する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	文化センター5館で緑のカーテンを継続する。iプラザの屋上緑化を継続する。
	平成30年度	文化センター5館で緑のカーテンを継続する。iプラザの屋上緑化を継続する。
	平成31年度	文化センター5館で緑のカーテンを継続する。iプラザの屋上緑化を継続する。
第四期事業量	文化センター5館で緑のカーテンを継続する。iプラザの屋上緑化を継続する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	文化センター5館で緑のカーテンを継続する。iプラザの屋上緑化を継続する。	
事業実績	文化センター5館で緑のカーテンを実施し、iプラザも継続している。	
担当課評価	○	
評価理由	現状維持が適当である。	
今後の対応	現状維持を継続する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状維持が継続していることが評価される。</li> <li>・質にもう少しこだわって欲しい。</li> <li>・順調に進められているように拝見した。多くの市民が直接利用する施設だけに、実施状況などを利用者に報告し、市民それぞれの取り組みを促すような広宣活動にも期待したい。</li> <li>・継続中である。</li> <li>・5館中1館の写真を拝見した。残りの4館の状況は如何であったろうか。また、iプラザの屋上緑化は建物の大きさと民営にふさわしいものだろうか。出来るものなら、屋上緑化の意義を再検討し、その活用を考えなければならないと思う。</li> <li>・実際に運用・管理に携わる皆様のご努力にも感謝したい。</li> <li>・とても重要な施策だと思う。長く維持できる様々な施策をする必要がある。</li> <li>・第三文化センターの緑のカーテンは実際に有効であると感じる。</li> <li>・現在(昨年度)の状態は不明であり、緑のカーテンの植物に使用されている植物等詳細が不明であり、評価しづらい。</li> </ul>	

担当課名	市民協働課	
平成29年4月現在の状況	地域振興プラザの屋上緑化を維持している。	
事業目標量	地域振興プラザの屋上緑化を維持する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	屋上緑化の維持管理を継続する。
	平成30年度	屋上緑化の維持管理を継続する。
	平成31年度	屋上緑化の維持管理を継続する。
第四期事業量	屋上緑化の維持管理を継続する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	屋上緑化の維持管理を継続する。	
事業実績	地域振興プラザ屋上緑化の継続	
担当課評価	○	
評価理由	維持管理に努めたため	
今後の対応	現状の設備の範疇で引き続き緑化推進に取り組んでいく。 品種については、乾燥や高低温に強く、また繁殖力も強い性質から、当面セダムを継続する。 枯損箇所が見受けられるため、挿し木等による補修を行う予定。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理が継続されていることが評価できる。</li> <li>・継続中である。</li> <li>・質にもう少しこだわって欲しい。</li> <li>・順調に進められているように拝見した。多くの市民が直接利用する施設であり、事業対象が直接目に触れにくいだけに、実施状況などを利用者に報告し、市民それぞれの取り組みを促すような広宣活動にも期待したい。</li> <li>・この屋上緑化は、一度拝見したことがある。そのときも、ちょっと残念な状況であったので、あれから前進したとは思えない。要は、屋上緑化はテーマとしては良いが、「お荷物化している」のではなかろうか。維持管理に努め、それから得るもの、皆から喜ばれるものがなければ、苦しみ負の財産になっているように思う。市としても、その辺りを再検討して、良い方向に持って行くことを期待したい。</li> <li>・引き続きよろしくお願ひしたい。</li> <li>・とても重要な施策だと思う。長く維持できる様々な施策をする必要がある。</li> <li>・現状設備の範囲でも、継続は必要だと思う。</li> <li>・セダムの活用は理解できるが、根本的な問題(滞水)があったように記憶している。改善されただろうか。</li> </ul>	

担当課名	健康課	
平成29年4月現在の状況	概ね維持できている。	
事業目標量	稲城市健康プラザの屋上緑化を維持する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	オーエンス健康プラザの屋上緑化を継続する。
	平成30年度	オーエンス健康プラザの屋上緑化を継続する。
	平成31年度	オーエンス健康プラザの屋上緑化を継続する。
第四期事業量	オーエンス健康プラザの屋上緑化を継続する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	オーエンス健康プラザの屋上緑化を継続する。	
事業実績	稲城市健康プラザの屋上緑化を維持している。	
担当課評価	○	
評価理由	指定管理者と連携し、草刈りや散水の調整など緑化に努めた。	
今後の対応	緑化を維持していくため、指定管理者との連携をより深める。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理が継続されていることが評価できる。</li> <li>・順調に進められているように拝見した。多くの市民が直接利用する施設であり、事業対象が直接目に触れにくいだけに、実施状況などを利用者に報告し、市民それぞれの取り組みを促すような広宣活動にも期待したい。</li> <li>・写真資料で見る限り、ほぼ良好に見える。指定管理者がそれなりにがんばっていると思われるが、それこそ「健康プラザ」の屋上ですから、そちらの方向の活用方法があっても良いように思う。</li> <li>・質にもう少しこだわって欲しい。</li> <li>・引き続きのご尽力をお願いしたい。</li> <li>・継続中である。</li> <li>・とても重要な施策だと思う。長く維持できる様々な施策をする必要がある。</li> <li>・屋上緑化の案内を利用客に宣伝してはどうか。</li> </ul>	



担当課名	市立病院 管理課	
平成29年4月現在の状況	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続している。	
事業目標量	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を維持する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続する。
	平成30年度	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続する。
	平成31年度	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続する。
第四期事業量	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続する。	
事業実績	健診外来棟:リュウノヒゲ135㎡、立体駐車場屋上:アベリア・ツツジ・ハギ・ヤマブキ等150㎡	
担当課評価	◎	
評価理由	緑化率の促進及び目で見える安らぎに貢献している	
今後の対応	健診外来棟の花壇内へ追土を検討し、継続維持管理をしていく	

評価 (◎、○、△、×、－)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観管理状況申し分なし。</li> <li>・維持管理が良好に行われていることが評価できる。</li> <li>・健康プラザと同一の建物西側と思われるが、配付された写真資料で見るとはやや差があるように見受けられる。ただ、2014年3月、15年11月の航空写真では、検診棟の緑が濃く、本年1月時点ではあまり差がないようにも見受けられる。見る安らぎの恩恵に浴することが出来るのは病院の上層階の患者に限定されるので、もっと何か良い方法がないのかと思う。</li> <li>・緑化率の促進に大変貢献している。</li> <li>・順調に進められているように拝見した。屋上緑化の対象の中では、直接市民の目に触れる機会のある場所である。他の公的施設の屋上緑化に比べ、ボリュームや修景効果も発揮されているので、さらなる広宣活動とその効果に期待する。</li> <li>・とても重要な施策だと思う。長く維持できる様々な施策をする必要がある。</li> <li>・病室からの鑑賞にたえられる位に整備されていると感じる。</li> <li>・維持継続を期待する。</li> </ul>	

担当課名	図書館課	
平成29年4月現在の状況	城山体験学習館の屋上緑化を継続している。	
事業目標量	城山体験学習館の屋上緑化を維持する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。
	平成30年度	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。
	平成31年度	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。
第四期事業量	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。	
事業実績	城山体験学習館の屋上緑化を継続している。	
担当課評価	○	
評価理由	概ね実施できている。	
今後の対応	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続中である。</li> <li>・質にもう少しこだわって欲しい。</li> <li>・2015年11月時点では、若干荒れていたようだが、18年1月段階と配付された資料写真は良好に見える。引き続き、良好状態に保たれることを望む。</li> <li>・是非、継続実施をお願いしたい。</li> <li>・今後も継続して管理が行われることを期待する。</li> <li>・とても重要な施策だと思う。長く維持できる様々な施策をする必要がある。</li> <li>・維持管理の手間を考えると概ねの実施によって継続出来ているのかと思う。猛暑のせいかな、成育状態は例年より良くないのでは。</li> <li>・概ね実施されたという評価理由であるが、具体的な内容、現在(昨年度)の状態がよくわからず評価しにくい。</li> <li>・順調に進められているように拝見した。ここは屋上緑化のなかでも、城山公園から見下ろせる位置にあり、市民の目にふれやすい場所である。美しい図書館建物の一部として評価しうるところなので、より濃い緑の維持に期待したいと思う。</li> </ul>	

## 2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

### 2-6 自然樹形を感じさせる維持管理の検討

施策の展開方針	道路は日常的に市民が利用する空間であり、道路の緑がもたらすイメージは緑の豊かさを感じるための主要な要素になっています。また、広がりと厚みを持った豊かな街路樹のある道路は、季節を感じることができます。 これからの街路樹は、それぞれの樹種の特徴を活かした自然樹形を感じさせる剪定手法や、美しい花を楽しめる剪定時期の採用など、維持管理手法を検討していきます。
担当課	土木課・管理課
対象施設など	周辺への影響が少ない大規模な公園 周辺への影響が少ない路線
10年間の目標	5公園、8路線
展開手法など	周辺への影響が少ない大規模な公園や市道を対象に、自然樹形を感じさせる樹木管理を行い、街に風格を与えるように努めます。 これらのために、緑の育成管理手法の検討、選定手法など維持管理手法の検討を行います。 都道は、東京都へ協力を要請します。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
平成29年4月現在の状況	自然樹形を感じさせる育成管理を継続している。	
事業目標量	稲城中央公園、城山公園、若葉台公園、大丸公園、平尾近隣公園で実施する。	
第三期事業量	平成29年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。代表的な樹木をホームページに掲載し、PRを行う。
	平成30年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
	平成31年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
第四期事業量	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。代表的な樹木をホームページに掲載し、PRを行う。	
事業実績	可能な限り、強剪定は行わず、自然樹形を感じさせる育成管理を継続している。	
担当課評価	△	
評価理由	代表的な樹木をホームページに掲載し、PRを行うまでに至らなかったため。	
今後の対応	自然樹形を感じさせる育成管理を継続し、PRを行う。	

評価 (◎、○、△、×、－)	△
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然樹形に近い管理をしている。</li> <li>・選定した樹木ごとに剪定のタイミングや手法をまとめて、後任に申し送る体制を作ってほしい。</li> <li>・評価理由が具体的になったことに好感をもった。「自然樹形」という概念は、専門知識のない市民には伝わりにくい内容であるだけに、実際の管理ではスペースの問題や樹木の回復力など課題があると思うが、「こうしたいんだ」という目標は、きちんと広報し、実現のための不便などにも理解を求めていくことが必要と思う。今後の実現活動に期待する。</li> <li>・自然樹形を感じさせる管理の方針や考え方を成文化してはどうか。</li> <li>・ホームページへのアップが出来なかったことが反省のようだが、次年度は、ぜひ頑張って頂きたいと思う。</li> <li>・現状でも極力、強剪定を行わず、安全管理上等の理由で止む得ない場合にのみ自然樹形に手を入れているのではないか。自然樹形は評価の基準が主観的になりがちで、全体の景観の中で樹形に手を入れるべきものと思う。</li> <li>・木の事はよく分からないが、自然の樹形でいられるのなら、木にとって良いと思う。</li> <li>・樹木の特性を理解した上で、管理の方向性を定めないと自然樹形を感じさせる育成管理はできないと思われる。</li> <li>・自然樹形を感じさせる育成管理は安らぎを感じさせる。</li> </ul>	

担当課名	管理課	
平成29年4月現在の状況	現況8路線の適切な育成管理を行った。	
事業目標量	竪神社通り、プラザふれあいロード、若葉台東櫨の木通り、若葉台西櫨の木通り、若葉台中央通り、若葉台公園西通り、多摩川サイクリングロード、三沢川側道で実施する。	
第三期事業量	平成29年度	追加路線を検討する。自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
	平成30年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
	平成31年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
第四期事業量	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	追加路線を検討する。自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。	
事業実績	現況8路線の育成管理を行った。	
担当課評価	△	
評価理由	追加2路線を検討しなかった。 管理上やむを得ない支障枝剪定や要望による強剪定や伐採と自然樹形育成の両立が課題。	
今後の対応	自然樹形を感じさせる育成管理手法の検討を行っていく。	

評価 (◎、○、△、×、－)	△
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然樹形剪定を望む。</li> <li>・公園よりも街路樹の方が制限も多く大変かと思うが、美しく管理されて街路樹は街の格が上がり、市の財産となるので推進をお願いしたい。選定した樹木ごとに剪定のタイミングや手法をまとめて、後任に申し送る体制を作してほしい。</li> <li>・道路空間の確保と自然樹形の実現という、相反する課題への取り組みを評価する。この両立について課題があるのは理解するが、これが「評価理由」に書かれていることは疑問である。「両立を検討しているが最適な解がまだ見いだせない」ということだと思うが、この苦労はお察しする。このような課題は、より広く広報して、市民からの意見も加え、コンセンサスに育てることが必要と思う。「できると合意したところまではやる」ということが実績として評価できる日を待っている。</li> <li>・本年夏、都道の一部における剪定は残念であった。一部なので、住民の要望なのか、指摘があったので中断したかは不明である。詳細に記憶をしている訳ではないので的外れかも知れぬが、私の知る限り、以前に比べて、「なぜこの時期に」という剪定はなくなったのではと思う。引き続き、管理をよろしく願いたい。</li> <li>・確かに、両立は難しい課題である。現状でも極力、強剪定を行わず、安全管理上等の理由で止む得ない場合にのみ自然樹形に手を入れているのではないかと。自然樹形は評価の基準が主観的になりがちで、全体の景観の中で樹形に手を入れるべきものと思う。</li> <li>・木の事はよく分からないが、自然の樹形でいられるのなら、木にとって良いと思う。</li> <li>・全ての近隣者等から強剪定の依頼はないと思われるため、クレームがあった場所以外では、自然形の維持は可能と思われるが、長期にわたりできていないため、もしかすると受託者のスキルに問題があるのではないかと疑ってしまう。自然形で矯正することも可能であるし、樹木の特徴に沿ったシンプルな作業である。</li> <li>・育成管理手法の検討しつつも、自然樹形を感じさせる育成管理は継続して欲しい。他の地域から訪れた人が市のイメージの第一印象として路線沿いの緑に、緑の豊かさを感じたように聞いた。</li> </ul>	

### 3.新市街地の緑創造プロジェクト

#### 3-1 土地区画整理事業による公園・緑地の整備

施策の展開方針	土地区画整理事業により、新市街地の整備とともに、計画的に配置された公園や緑地が整備されます。これらの公園・緑地の整備にあたり、積極的に広がりと厚みを持った緑を創出し、緑につつまれたまちづくりを進めます。また、植栽する樹木には、樹名板を設置して市民が親しみを持てるようにします。
担当課	区画整理課・市街地整備課
対象施設など	新たに設置される公園・緑地
10年間の目標	公園16箇所(120,077㎡) 緑地13箇所(33,911㎡)
展開手法など	事業区域内の権利者や関係団体と協議し、緑の基本計画の考え方が反映されるように、整備内容の検討を進めます。

担当課別行動計画

担当課名	区画整理課	
平成29年4月現在の状況	南多摩駅周辺土地区画整理事業:公園1箇所529㎡の設計中	
事業目標量	公園(6箇所)10,488㎡を整備する。	
第三期事業量	平成29年度	
	平成30年度	
	平成31年度	
第四期事業量	榎戸土地区画整理事業:公園3箇所8,001㎡〔吉方公園、(仮称)矢野口公園、(仮称)円覚寺公園〕 矢野口駅周辺土地区画整理事業:公園2箇所1,958㎡(公園2号、4号) 南多摩駅周辺土地区画整理事業:公園1箇所529㎡(3号公園)	
平成29年度事業報告		
事業目標		
事業実績	3号公園(分量橋公園)整備完了	
担当課評価	○	
評価理由	南多摩駅前広場に隣接する3号公園(分量橋公園)の工事を完了したため、「○」評価とした。	
今後の対応	3号公園(分量橋公園)の緑の維持管理に努めていく。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事完了している。</li> <li>・前年度に続き、事業目標が空欄になったままなのは、この評価シートのシステムとして理解しがたいところである。結果実績のみをもって「予定どおり」というのでは、目標を掲げるシステムになじまず、役所が内部で構想した事業を進めているということにしかない。</li> <li>・資料写真によると、日常的に相当維持管理の大変な公園と思われる。四季折々の草花の管理にご努力頂きたく思う。</li> <li>・引き続き、10年の最終目標に向けて公園・緑地の整備を推進してほしい。</li> <li>・出来たばかりの公園なので今後ともしっかり維持してほしい。</li> <li>・工事が完了した。</li> </ul>	

担当課名	市街地整備課	
平成29年4月現在の状況	上平尾土地区画整理地区内の公園2箇所9,350㎡(三反田湧水公園、寺谷津公園)	
事業目標量	公園10箇所110,589㎡、緑地13箇所33,911㎡	
第三期事業量	平成29年度	南山土地区画整理地内の公園1箇所9,405㎡、緑地2箇所7,479㎡ 上平尾土地区画整理地内の公園2箇所4,164㎡、緑地5箇所17,565㎡
	平成30年度	南山土地区画整理地内の緑地1箇所3,851㎡
	平成31年度	南山土地区画整理地内の緑地3箇所3,026㎡ 小田良土地区画整理地内の公園3箇所8,180㎡
第四期事業量	南山土地区画整理地内の公園2箇所79,490㎡、緑地2箇所1,990㎡	
平成29年度事業報告		
事業目標	南山土地区画整理地内の公園1箇所9,405㎡、緑地2箇所7,479㎡ 上平尾土地区画整理地内の公園2箇所4,164㎡、緑地5箇所17,565㎡	
事業実績	南山、上平尾ともに0箇所	
担当課評価	△	
評価理由	土地区画整理事業の進捗により事業実施に至らなかったことから。	
今後の対応	上平尾については、設計、管理引継ぎ協議を進めていく。南山については、公園・緑地あり方検討会にて検討し、組合に助言、監督を実施する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	△
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区画整理事業の進行に伴って実施可能のため。</li> <li>・地権者と協議しながらの事業なので、拙速よりは着実なステップに期待する。土地区画整理事業の場合、時間はかかっても、着実な成果が期待できるので、遅れはあまり心配しない。自己評価が△であり、目標より遅れているのも事実であるため、当方の評価も△としたが、悪い評価とした訳ではない。今後の対応についても、実績を踏まえた具体内容が記述されていて好感を持った。</li> <li>・事業進捗状況に左右されておられるものと思う。引き続き、潰した緑に少しでも見合う公園の設計、施工、維持管理の研究を進めて頂きたいと思う。</li> <li>・今後の御庁のご対応を期待している。</li> <li>・今後がんばってほしい。</li> <li>・近年夏場は酷暑になるので木影や植栽棚があり日陰の出来る公園も作って欲しい。</li> <li>・事業実施ができなかった。</li> </ul>	



### 3.新市街地の緑創造プロジェクト

#### 3-2 公共施設の緑化(学校など)

施策の展開方針	稲城市では、土地区画整理事業による新市街地の整備が進められています。新しく整備される市街地では、新たな公共施設の整備もされます。これらについて、積極的に広がりや厚みを持った緑を創出し、緑につつまれたまちづくりを進めます。
担当課	教育総務課
対象施設など	南山小学校における屋上緑化などの緑の創出と維持
10年間の目標	敷地内緑化及び屋上緑化などによる緑の創出と維持
展開手法など	南山小学校について、屋上緑化などの緑の創出を進めます。
備考	2-5に再掲

#### 担当課別行動計画

担当課名	教育総務課	
平成29年4月現在の状況	南山小学校の敷地内緑化及び屋上緑化の維持。	
事業目標量	南山小学校における敷地内緑化及び屋上緑化などの緑の創出と維持をする。	
第三期事業量	平成29年度	敷地内緑化及び屋上緑化の維持
	平成30年度	敷地内緑化及び屋上緑化の維持
	平成31年度	敷地内緑化及び屋上緑化の維持
第四期事業量	敷地内緑化及び屋上緑化の維持	
平成29年度事業報告		
事業目標	敷地内緑化及び屋上緑化の維持	
事業実績	敷地内緑化及び屋上緑化の維持を行った。	
担当課評価	○	
評価理由	敷地内緑化及び屋上緑化の維持が出来た。	
今後の対応	引き続き敷地内緑化及び屋上緑化の維持を行う。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内緑化、屋上緑化進行中である。</li> <li>・報告どおりであれば、「○評価できる」となる。昨年反省のあった「飛来する雑草のタネ」をどう克服したのか、自信をもって具体的に報告していただけたら、もっと安心して評価できた。</li> <li>・配付された資料写真や航空写真によると、管理されているように見受けられる。ただ、これもしっかりとした価値を見出さない限り、みどり維持の押し付けになるように思われる。</li> <li>・引き続き、敷地内・屋上等の緑化に向けて能力ご努力を期待している。</li> <li>・とても重要な施策だと思う。長く維持できる様々な施策をする必要がある。</li> <li>・現在の様子はわからないが、維持したとの事。</li> </ul>	

### 3.新市街地の緑創造プロジェクト

#### 3-3 地区計画区域の拡充と緑化率条例の検討

施策の展開方針	この10年間で整備完了が見込まれている南山東部土地区画整理事業・上平尾土地区画整理事業・(仮称)小田良土地区画整理事業では、適切に緑が確保され、良好な市街地が形成されるように、地区計画区域の拡充を図るとともに、緑化率などの導入について検討を進めていきます。
担当課	都市計画課
対象施設など	南山東部土地区画整理事業・上平尾土地区画整理事業・小田良土地区画整理事業、押立第一地区
10年間の目標	3箇所145.9haの決定
展開手法など	各土地区画整理事業区域において、地区計画の決定を行います。地区計画の内容に、緑化率などの導入を盛り込むことを検討します。

#### 担当課別行動計画

担当課名	都市計画課	
平成29年4月現在の状況	緑化率の制限を盛り込んだ地区計画を5箇所190.5haを決定	
事業目標量	3箇所145.9haを決定する。	
第三期事業量	平成29年度	南山東部土地区画整理事業の変更に伴う地区計画変更において緑化率の制限する範囲を拡大する。
	平成30年度	既存の地区計画の変更において緑化に関する事項の追加を検討する。
	平成31年度	既存の地区計画の変更において緑化に関する事項の追加を検討する。
第四期事業量	既存の地区計画の変更において緑化に関する事項の追加を検討する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	南山東部土地区画整理事業の変更に伴う地区計画変更において緑化率の制限する範囲を拡大する。	
事業実績	南山東部土地区画整理事業の進捗に合わせて南山東部地区地区計画を変更し、緑化率を制限する範囲を拡大した。(平成30年3月9日都市計画決定)	
担当課評価	○	
評価理由	予定通りに事業が進んでいる	
今後の対応	地区計画区域内の敷地において、地区計画の規定に基づいた緑化がされるよう推進していく。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進行中である。</li> <li>・これまで利用されてこなかった稲城駅南側における事業として、環境保全と土地利用を共存させた新しい市街地の形成に期待する。</li> <li>・地区計画の規定に基づいた緑化を強力に推進していただきたい。</li> <li>・木は大きくなると色々障害になるので長期的に見ていくのが良い。</li> <li>・予定通り事業が進んだ。</li> </ul>	

### 3.新市街地の緑創造プロジェクト

#### 3-4 四季折々に楽しめる街路樹の整備

施策の展開方針	稲城市では、土地区画整理事業による新市街地の整備が進められています。新しく整備される市街地では、骨格となる道路に街路樹が整備されます。 街路樹の整備は、四季折々に花や紅葉が楽しめるなど季節を感じることのできる樹種を選ぶなど、緑を増やすだけではなく、暮らしにやすらぎをもたらすような工夫をして、緑につつまれたまちづくりを進めます。
担当課	区画整理課・市街地整備課
対象施設など	南多摩駅周辺土地区画整理事業、榎戸土地区画整理事業、矢野口駅周辺土地区画整理事業、稲城長沼駅周辺土地区画整理事業、南山東部土地区画整理事業、上平尾土地区画整理事業、(仮称)小田良土地区画整理事業
10年間の目標	16路線(9,103.8m)
展開手法など	樹種や植栽パターンは、稲城市樹木花卉植栽計画及び地域住民の意見を反映します。

担当課別行動計画

担当課名	区画整理課	
平成29年4月現在の状況	未実施	
事業目標量	5路線(1,539m)を整備する。	
第三期事業量	平成29年度	南多摩駅周辺土地区画整理事業: 矢野口大丸線(150m)
	平成30年度	
	平成31年度	
第四期事業量	榎戸土地区画整理事業: 宿榎戸線(380m)、公園通り梨の道線(630m)	
平成29年度事業報告		
事業目標	南多摩駅周辺土地区画整理事業: 矢野口大丸線(150m)	
事業実績	矢野口大丸線(150m)街路樹整備完了	
担当課評価	○	
評価理由	矢野口大丸線(150m)の街路樹整備が完了したため、「○」評価とした。	
今後の対応	矢野口大丸線(150m)の緑の維持管理に努めていく。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢野口大丸線完了。</li> <li>・順調に進行されているようでよかった。</li> <li>・これは、駅周辺も、駅前広場に近い区間を指すのかと思われる。配付された写真資料では、街路樹に相当するものは見受けられない。報告の仕方で事業評価をしたくはないが、街路樹は何で、概ねどこからどこというものが欲しい。また、「稲城市樹木花卉植栽計画」そのものが、市HPで出てこないようである。よしんばあったとしても、そのどこの部分をよりどこに行ったのかが欲しい。</li> <li>・次期の宿榎戸線と公園通り梨の道線の街路樹整備も期待している。</li> <li>・街路樹の整備はその周辺に住んでいる人にはとても大事なものでしっかり対処する。</li> <li>・整備が完了した。</li> </ul>	

担当課名	市街地整備課	
平成29年4月現在の状況	南山地区5路線1,305m、上平尾地区2路線954m	
事業目標量	南山地区9路線4,984m、上平尾地区2路線1,077m、小田良地区2路線903m	
第三期事業量	平成29年度	南山地区4路線1,017mを整備する。
	平成30年度	南山地区3路線632m、小田良地区1路線245mを整備する。
	平成31年度	上平尾地区1路線123m、小田良地区1路線658mを整備する。
第四期事業量	南山地区6路線2,030mを整備する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	南山地区4路線1,017mを整備する。	
事業実績	0路線	
担当課評価	△	
評価理由	土地区画整理事業の進捗により事業実施に至らなかったことから。	
今後の対応	工事行程表を見直し、組合に助言、監督を実施する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	△
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施出来なかった。</li> <li>・4路線が特定出来る資料が欲しかった。写真資料もないように思われる。詳細は要らぬが、おおよその場所の説明を頂ければ幸いである。事業評価を、その報告で判断をしたくはないが、ご理解を頂きたい。</li> <li>・事業の進捗により実施できないことは止む得ない。</li> <li>・地権者と協議しながらの事業なので、拙速よりは着実なステップに期待する。土地区画整理事業の場合、時間はかかっても、着実な成果が期待できるので、遅れはあまり心配しない。自己評価が△であり、目標より遅れているのも事実であるため、当方の評価も△としたが、悪い評価としたつもりではない。</li> <li>・来年度がんばってほしい。</li> <li>・上平尾地区路線は交通量の多い経路となっていくと思われるので、整備に力を入れて欲しい。</li> <li>・事業を実施できなかった。</li> </ul>	

## 4.駅前緑化プロジェクト

### 4-1 駅・駅前広場の緑化

施策の展開方針	市街地内の南北分断や交通渋滞を解消するために、JR南武線の高架事業を進めています。高架事業の完了にあわせて、JR南武線の稲城長沼駅と南多摩駅には、駅前広場が整備されます。これから新しく整備される駅前広場は、緑を大切にしている稲城市民の気持ちが伝わるような、緑が豊かで心やすらぐ姿となるように広がりと厚みを持った緑の整備を進めていきます。
担当課	区画整理課
対象施設など	JR南武線 稲城長沼駅、南多摩駅の駅前広場の整備
10年間の目標	稲城長沼駅・南多摩駅で緑豊かで心安らく駅前広場の整備
展開手法など	事業区間内の地権者や関係団体と、緑豊かな駅前広場の整備内容について検討していきます。

### 担当課別行動計画

担当課名	区画整理課	
平成29年4月現在の状況	南多摩駅前広場(2,400㎡)整備工事施工	
事業目標量	JR南武線稲城長沼駅、南多摩駅の駅前広場を整備する。	
第三期事業量	平成29年度	-
	平成30年度	-
	平成31年度	-
第四期事業量	稲城長沼駅前広場4,400㎡の整備	
平成29年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	-	
担当課評価	-	
評価理由	-	
今後の対応	-	

評価 (◎、○、△、×、-)	-未評価(当該年度は着手時期ではない)
平成29年度事業報告に対する意見	

## 5.市民活動の支援と育成プロジェクト

### 5-1 市民ボランティアの人材育成・組織化・活動支援

施策の展開方針	人材の育成と組織化については、水と緑のまちづくりの地域リーダー、樹林地保全活動の指導者、自然観察の指導者、アダプト制度の参加者、公園でのプレイリーダーなど、活動の核となる人材の育成と、その組織化について取り組み、市民団体の知識や技術力向上のための支援、道具や資材などの活動支援について検討していきます。
担当課	土木課・市街地整備課
対象施設など	稲城中央公園・城山公園・若葉台公園・南山東部地区内の公園・緑地
10年間の目標	プレイリーダーによる公園運営の定着(稲城中央公園) 樹林地管理ボランティアの活動の定着(稲城中央公園、城山公園)
展開手法など	稲城中央公園の一部区域で、市民主体のプレイリーダーによる公園の運営を軌道にのせるために、市民とともに検討を進めていきます。城山公園・若葉台公園・南山東部地区内の公園・緑地で市民主体の樹林地の育成活動の展開を進め、樹林地管理ボランティア活動の定着を進めていきます。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
平成29年4月現在の状況	方向性が定まっていない。	
事業目標量	プレイリーダーによる公園運営を定着させる(稲城中央公園)。樹林地管理ボランティアの活動を定着させる(稲城中央公園、城山公園)。	
第三期事業量	平成29年度	プレイリーダー・樹林地管理ボランティアの活動方針の策定
	平成30年度	プレイリーダーの活動試行、樹林地管理ボランティア指導者の選定
	平成31年度	プレイリーダーの活動本格実施、樹林地管理ボランティア指導者の育成
第四期事業量	プレイリーダーの活動継続 樹林地管理ボランティア活動の試行、本格実施	
平成29年度事業報告		
事業目標	プレイリーダー・樹林地管理ボランティアの活動方針の策定	
事業実績	活動方針の策定のため、樹林地管理ボランティアについて、近隣市や市内の活動事例を調査した。	
担当課評価	×	
評価理由	活動方針の策定に至らなかったため。	
今後の対応	検討会等で検討を行い、活動方針を策定する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	×
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹林地管理ボランティア分科会がスタートしたことが評価される。</li> <li>・準備会が発足したことを評価している。</li> <li>・一連の事業のなかで、最も期待する事業であるが、前年度より目標を後退させて、それでも進捗できないという事情に憂慮している。事業趣旨は間違っていないと考えるので、着実な進捗を実現させるための方策について、見直していくことも必要ではないか。市の内部だけの検討では方針策定が困難であるなら、その実情を市民に公開して知恵や協力を求めること、市が制御しやすい活動にこだわることなく、市民パワーを集めやすい形態を模索することも重要と考える。</li> <li>・報告によれば、本年度に29年度の事業をしているであろうと読み取れる。是非とも遅れを取り戻して頂きたい。</li> <li>・詳細な計画と策定可能なロードマップが不可欠。一層のご努力を期待している。</li> <li>・ボランティアを募集したりするのは難しいが、引き続きやっていくしかない。</li> <li>・樹林地管理ボランティア活動方向性検討がスタートした。</li> </ul>	



担当課名	市街地整備課	
平成29年4月現在の状況	市民共有の財産となるような公園、緑地あり方検討会を4回開催	
事業目標量	エリアマネジメント組織による公園づくり及び維持管理を検討する(南山東部地区)	
第三期事業量	平成29年度	樹林地管理の実施
	平成30年度	樹林地管理の実施
	平成31年度	樹林地管理の実施
第四期事業量	樹林地管理の実施	
平成29年度事業報告		
事業目標	樹林地管理の実施	
事業実績	第5回公園・あり方検討会を開催	
担当課評価	○	
評価理由	区画整理地内の一部の公園・緑地のあり方について検討した。	
今後の対応	区画整理地内の公園・緑地のコンセプトを決定するとともに、継続して公園・緑地あり方検討会を実施する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<p>・この数年間、特に確立して来られたようで、個々人におかれては、十数年前から地道に活動をして来られたと思う。当初かかわっておられた方々は卒業されたのか、別の道を歩まれるようになったのか定かではないが、より多くの市民から共感を得られるような方向に進んで欲しいと思う。</p> <p>・実施中である。</p> <p>・検討されたあり方の具体内容や、今後決定を記すコンセプトについて、広く公開して市民意見を吸収することにも努めていただきたい。今後に期待する。</p> <p>・市の樹林地管理において大変大きな課題と考えられる。是非、実現に向けてのご検討を期待している。</p> <p>・「樹林地を管理」という事は具体的にどういう内容なのか知りたい。</p> <p>・新しい地域からスタート、定着すれば、他の地域にも拡大の可能性が出てくるかもしれない。</p> <p>・あり方検討会が実施されたが、具体的内容が把握できなかった。</p> <p>・活動方針が決まっていない。どのような方向を基準とし、活動させようとしているのかがわからない。</p>	

## 5.市民活動の支援と育成プロジェクト

### 5-2 各種普及啓発活動の実施

施策の展開方針	稲城市が管理する公共施設の植栽に樹名板を設置し、市民の緑への関心を高め、緑に対し理解を深めていく機会を増やしていきます。
担当課	土木課・管理課・指導課
対象施設など	公園・道路植栽・学校(小学校11校・中学校6校)
10年間の目標	126公園 7路線 17校
展開手法など	児童生徒や多くの市民の目につきやすい主要な部分から樹種の調査を行い、市民による手づくり樹名板などの設置の検討を行います。その他、新たに整備される公園・道路では、主要な場所の植栽に樹名板を設置します。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
平成29年4月現在の状況	-	
事業目標量	樹名板を126公園に設置する。	
第三期事業量	平成29年度	樹名板を街区公園(15公園)に設置する。
	平成30年度	樹名板を街区公園(15公園)に設置する。
	平成31年度	樹名板を街区公園(14公園)に設置する。
第四期事業量	樹名板を街区公園(44公園)に設置する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	樹名板を街区公園(15公園)に設置する。	
事業実績	淡雪公園、奚疑公園、押立児童公園、吉方公園の4公園で、指定管理者が設置。	
担当課評価	△	
評価理由	4公園のみの設置であったため。	
今後の対応	引き続き樹名板の設置を行う。	

評価 (◎、○、△、×、-)	△
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4公園で実施。順次実施を期待する。</li> <li>・指定管理者とはどういう距離感なのか？ 4/15の実績は少なすぎないか？ 申入れの方法に工夫が必要と思われる。</li> <li>・目標と実績の乖離については、評価のなかで、具体事情を記録することが必要。15公園を目標として4公園での設置というのは、「確実に進んでいる」とは言いにくい状況と考える。手の問題、費用の問題などさまざま想像しうるが、具体的にには何が原因で11公園は実施できなかったのか、その記録がなければ、次年度にも同様のことが起こりかねない。</li> <li>・地道な活動で、ご苦労も多いと思う。折角ご苦労するならば、樹木名、科目は必然として、QRコードを配して、WEB植物図鑑「花ペディア」に至る工夫は如何なものか。</li> <li>・4公園のみの設置でも、粛々と実施されていることは評価できる。</li> <li>・樹名板は必要だと思うので引き続き続ける。</li> <li>・職場体験での樹名板政策は非常に意味があるものと思うため、引き続き行っていただきたい。</li> </ul>	

担当課名	管理課	
平成29年4月現在の状況	樹名板の設置方法について、検討を行っている。	
事業目標量	樹名板を7路線に設置する。	
第三期事業量	平成29年度	樹名板を2路線に設置する。
	平成30年度	樹名板を2路線に設置する。
	平成31年度	樹名板を3路線に設置する。
第四期事業量	樹名板を7路線に設置する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	樹名板を2路線に設置する。	
事業実績	なし	
担当課評価	×	
評価理由	樹名板のデザイン研究ができなかった。	
今後の対応	樹名板のデザイン研究	

評価 (◎、○、△、×、－)	×
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施出来る所から実施すべきである。</li> <li>・事業実施には当然必要となる樹名板のデザインが決まらないというのは、どういう事情にあったのか。これは「研究」すべき内容であるのか疑問。目標として設置を掲げたのであれば、その準備としてデザイン決定がスケジュールできたはずであり、オリジナリティあるデザインも大事だが、既製品によるコスト削減もありうるわけで、その段階の反省も記述してほしい。</li> <li>・樹木名、科目は必然として、QRコードを配して、WEB植物図鑑「花ペディア」に至る工夫は如何なものか。</li> <li>・樹名板のデザイン研究が、何故できなかったのか？（コスト、人手、そもそも必要性等の何が問題で、できなかったのか？）</li> <li>・樹名板は必要だと思うので引き続き続ける。</li> <li>・7路線というと、7樹種であろうか。数年にわたって設置できなかったということは、不要なのではないか。</li> </ul>	

担当課名	指導課	
平成29年4月現在の状況	-	
事業目標量	樹名板を17校に設置する。	
第三期事業量	平成29年度	樹名板を2校に設置する。
	平成30年度	樹名板を2校に設置する。
	平成31年度	樹名板を2校に設置する。
第四期事業量	樹名板を2校に設置する。	
平成29年度事業報告		
事業目標	樹名板を2校に設置する。	
事業実績	長峰小学校、稲城第四中学校の2校に樹名板を設置した。	
担当課評価	○	
評価理由	2校に設置することができたため。	
今後の対応	適宜、取り組みを促していく。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施出来た。</li> <li>・樹名板が設置されたことが評価される。</li> <li>・写真資料によると、指導課の樹名板にもQRコードはないようだ。ただ、基本、学校においてスマホによる説明は適当とは思えない。しかしながら、樹名や科目だけでなく、もう少し深い説明があった方が良いのではと思う。</li> <li>・樹名板は必要だと思うので引き続き続ける。</li> <li>・順調な進行を評価する。「樹名板」については、3課が目標としているが、樹種の確認確定や設置する樹名板の内容について、ヨコのつながりや協働態勢は整っているのか。進捗だけでなく協調にも期待する。</li> <li>・樹名板は増やして欲しい。</li> <li>・2校に設置された。</li> </ul>	

## 5.市民活動の支援と育成プロジェクト

### 5-3 水と緑の情報収集・提供

施策の展開方針	水と緑に関する情報を市民と行政が共有化し、より多くの市民自らが積極的に水と緑のまちづくりを進めていけるように、水と緑に関する情報の収集と提供に努めます。
担当課	土木課
対象施設など	市内全域
10年間の目標	ホームページなどによる情報提供の充実 アダプト団体の交流の場の提供と活動の活発化による情報交換の促進
展開手法など	指定管理者との連携を図り、市内各所の花の見所・時期、イベント情報などの公園・緑地の魅力を発信します。 アダプト制度による市民活動の活動報告の場の提供や各種活動団体同士の交流の場の提供などを検討します。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
平成29年4月現在の状況	市ホームページによる情報提供	
事業目標量	ホームページなどによる情報提供を充実させる。アダプト団体の交流の場を提供し、活動を活性化させ、情報交換を促進する。	
第三期事業量	平成29年度	市ホームページの充実、アダプト制度による市民活動の活性化
	平成30年度	市ホームページの充実、アダプト制度による市民活動の活性化
	平成31年度	市ホームページの充実、アダプト制度による市民活動の活性化
第四期事業量	市ホームページの充実、アダプト制度による市民活動の活性化	
平成29年度事業報告		
事業目標	市ホームページの充実、アダプト制度による市民活動の活性化	
事業実績	市ホームページにアダプト制度について掲載。広報にアダプト制度の募集記事を掲載。	
担当課評価	△	
評価理由	ホームページの内容の充実まで至らなかったため	
今後の対応	ホームページの内容の充実を図り、市民活動の活性化を促進する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	△
平成29年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPIにアクセスしやすい様にして欲しい。</li> <li>・今後の取り組みを期待する。</li> <li>・紙媒体の広報が賞を取っているそうなので、HPも頑張ってもらいたい。時事もののコンテンツや構成についてセンスがあるということだと思う。申請書の類の編集(=記入)と印刷に苦労した憶えがある。</li> <li>・「ホームページの内容充実に至らなかった」という評価があるが、その事情原因を記述しなくては評価のしようがない。コンテンツはできたがホームページに反映させられなかったという事情であれば安心だが、アダプト制度そのものが公開できる段階にあったのであれば、事態は深刻である。そのあたりをしっかりと検証して、次年度につなげていただきたいと思います。</li> <li>・市HPの充実とアダプト制度による市民活動の活性化とは、やや、異質なものとと思われる。難しいことは分からぬが、HPIは、言わば伝達的手段に思う。アダプト制度による市民活動の活性化とは、そうした媒体により遂げられるもののように思われる。折りがありましたら、ご教授願いたい。</li> <li>・引き続き、内外へ「水と緑の街づくり」を発信しながら、ユニークなアイデアで自然環境・観光事業を育てる市民活動を広げていきたい。</li> <li>・アダプト団体の活動報告や交流の場の提供が新しい人材(プレイリーダー・樹林地管理ボランティア等)の発掘の場につながるのでは。情報交換により緑の知識を増やし花壇に植える花苗の一部をグループで育ててみる等新たな広がりも望めるかも。</li> <li>・様々な市民団体の交流、情報の共有は意味があると思われるため、媒体をホームページに限らず、交流していただきたいと思います。</li> <li>・一部古すぎる情報と感じたが活動内容のわかる紹介もある。</li> <li>・HPで公表するのは大事な事なのでがんばる。</li> </ul>	